

レース名	斤量	クラス	コース	距離	馬場	レース質	荒れ度	自信度
阪急杯	別定	GIII	阪神	芝1400m	良想定	平坦	中荒れ	D

※文字色の意味 2021/2/28

赤…GOOD妙味大な馬 青…BAD危険な馬

紫…DARKHORSE穴馬

枠番	名前	騎手	父	父系統	母父	母父系統	斤量	能力	コース	馬場	血統	展開	総合	人気	印	結果
1	メイケイダイハード	松若	ハードスパン	ダンジグ	キングカメハメハ	キングマンボ	56	C	A	B	B	B	B	11	△2	12
2	ダノンファンタジー	川田	ディーブインパクト	ディーブインパクト	Not For Sale	グレイソヴリン	55	B	A	A	B	A	A	2	◎	5
3	カソジ	武豊	ディーブインパクト	ディーブインパクト	ホワイトマズル	リファール	57	C	C	D	C	D	D	8	消	15
4	ロードアクア	田中健	ロードカナロア	キングマンボ	ダイワメジャー	サンデーサイレンス	56	D	D	C	A	D	D	12	消	7
5	メイショウチタン	幸	ロードカナロア	キングマンボ	マイネルラヴ	ミスターロビン	56	D	B	B	A	D	D	9	△5	6
6	ミッキープリランテ	和田竜	ディーブプリランテ	ディーブインパクト	Dansili	デインヒル	56	C	B	C	B	C	C	10	☆	2
7	クリノガウディー	岩田望	スクリーンヒーロー	ロベルト	ディアフロ	ヘイロー	56	B	C	C	C	C	C	7	△4	9
8	レシステンシア	北村友	ダイワメジャー	サンデーサイレンス	Lizard Island	ダンジグ	54	A	B	A	B	B	B	1	○	1
9	タマモメイトウ	古川	エイシンフラッシュ	キングマンボ	メジロライアン	ノーザンテースト	56	E	E	D	C	E	E	17	消	10
10	インディチャンプ	福永	ステイゴールド	ステイゴールド	キングカメハメハ	キングマンボ	57	A	C	B	C	B	B	3	△1	4
11	ザイツィンガー	園分恭	ドリームジャーニー	ステイゴールド	クロフネ	グレイヴジョイント	56	D	D	D	C	E	E	13	消	8
12	コンパウンダー	吉田隼	アドマイヤムーン	ミスターロビン	Manduro	ブランドフォード	56	E	D	D	C	D	E	16	消	11
13	ジャンダルム	荻野極	Kitten s Joy	サドラーズウエルズ	Sunday Silence	サンデーサイレンス	56	C	B	C	C	B	C	4	△3	3
14	トライン	池添	ディーブインパクト	ディーブインパクト	Kingmambo	キングマンボ	56	C	B	C	C	B	C	6	▲	17
15	ブラックムーン	藤井勲	アドマイヤムーン	ミスターロビン	ジェネラス	ニジンスキー	56	E	C	D	C	E	E	15	消	13
16	メイショウキョウジ	潘井	ダイワメジャー	サンデーサイレンス	Kris S.	ロベルト	56	D	D	C	B	D	D	14	消	14
17	ベストアクター	団野	ディーブインパクト	ディーブインパクト	クロフネ	グレイヴジョイント	56	C	B	C	B	C	C	5	消	16

※評価はこのレース中の相対評価になります

PREVIEW
<p>スタートして平坦から下り坂になるコースレイアウトのため、この条件は非常にテンのラップが速くなりやすい。より距離が短い阪神芝1200mよりもテンのラップが速くなることはザラですし、その上で前半飛ばした分最後の急坂部分で上がりがかかって消耗戦になるのが特徴。競馬ファンが考える芝1400mのイメージに最も近い条件と言って良いんじゃないだろうか。</p> <p>前半から中盤部分にかけてラップが緩むところがないので、途中で息を入れなきゃいけない馬にとっては厳しい舞台。ワンペースですとスピードを維持できて、なおかつ溜めが効いて最後にグッと急坂で差し込んでくれるような馬が有利な舞台です。そんなイメージで突っ込んできそうな馬を狙えばいいんじゃないだろうか。</p> <p>ここは人気でも◎ダノンファンタジーが堅そうなイメージ。前走は1400mへの距離短縮で一変すると見て本命を打ったが、こちらが想像していた以上に強いパフォーマンス。走破時計1:19:7は一昨年の阪神カップのグランアレグリアともそこまで差のないものですし、今回もまたも競馬ができればまず上位争いになるんじゃないだろうか。このあとどこを目標にするかも微妙なので仕上げてきそうですし、中内田厩舎と川田騎手はこういうタイミングでよく走る。</p>

REVIEW
<p>レシステンシアがボンとハナを奪って絶妙なミドルペースを刻む展開。高速馬場で絶妙なミドルペース戦になった結果、前に行った馬がそのままだれ込むような結果になった。レシステンシアが駆け抜けた決勝時計は1:19:2。阪神芝1400mのレコードタイムが記録されたように、上位勢はレベルが高いレースをしていたんじゃないだろうか。</p>

コース特徴						
<p>阪神芝1400mはテンのラップが速くなりやすい。その上で最後に上がりがかかる特殊な芝1400m適性が要求される舞台。</p>						
馬場レベル&バイアス						
<p>B=やや高速</p>						
血統傾向						
<p>今年に入ってから阪神芝1400mの血統傾向を見ると、ロードカナロア産駒の成績が非常に優秀。京都牝馬兩テークスでもロードカナロア産駒が1、3着に走りまし、実際に父ロードカナロアもこのレースを優勝した実績あり。</p>						
展開						
<p>レシステンシア、ロードアクアあたりが逃げる展開。この条件は上級戦だとペースが流れますし、平均ラップで能力と適性が問われる展開になりそう。</p>						
データなど特記事項						
<p>×7歳以上で前走10着以下(0-0-0-31) ×牝馬で当日10番人気以下(0-0-0-12) ×関東馬で当日9番人気以下(0-0-0-16) ×前走0P特別で10着以下(0-0-0-12) ×間隔中9週以上で当日10番人気以下(0-0-0-20)</p>						
危険な馬						
<p>カソジ=とにかく揉まれるとダメな馬で、スワンSは奇跡的に超スローで逃げられたのが勝因でフロックだろう。武豊騎手が乗るとなるとオーソドックスな競馬になりそうですし、そういう競馬では無理だと思います。</p>						
妙味大な馬						
<p>ダノンファンタジー=前走は1400mへの距離短縮で一変すると見て本命を打ったが、こちらが想像していた以上に強いパフォーマンス。走破時計1:19:7は一昨年の阪神カップのグランアレグリアともそこまで差のないものですし、今回もまたも競馬ができればまず上位争いになるんじゃないか。</p>						
穴馬						
<p>メイケイダイハード=もうとにかく阪神コースしか走らない馬で、こと阪神コースに限定すればほぼパーフェクトな戦績。マイルGSも展開合わない中でレシステンシアと小差ですし、前走の洛陽Sは信じられないぐらいの超スローに逆いた格好。1400mの距離は少々ですがもともとマイルより合いそう。</p>						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>想定時計</th> <th>上3F</th> <th>下3F</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1:19:8</td> <td>34.2</td> <td>34.2</td> </tr> </tbody> </table>	想定時計	上3F	下3F	1:19:8	34.2	34.2
想定時計	上3F	下3F				
1:19:8	34.2	34.2				
想定ラップタイム						
<p>12.0 -10.8 -11.4 -11.5 -11.4 -11.0 -11.7</p>						

Copyright (C) 2014 - KAZ
 All Rights Reserved.
 本資料の一部または全部を、許可なく再配布することを禁じます。

枠番	名前	騎手	印	総合評価	想定人気	PREVIEW	結果	REVIEW
1	メイケイダイハード	松若	△2	B	11	もうとにかく阪神コースしか走らない馬で、こと阪神コースに限定すればほぼパーフェクトな戦績。マイルCSも展開合わない中でレシステンシアと小差ですし、前走の洛陽Sは信じられないぐらいの超スローペースに泣いた格好。1400mの距離は久々ですが、もともとマイルよりは1400mぐらいの方が良さそうな馬ですし、ここはスムーズに立ち回れば大穴を開ける可能性も。	12	さすがに今回はレースレベルが高すぎたか。阪神競馬専用機ではあるが、相手次第という感じがします。
2	ダノンファンタジー	川田	◎	A	2	前走は1400mへの距離短縮で一変すると見て本命を打ったが、こちらが想像していた以上に強いパフォーマンス。走破時計1:19.7は一昨年の阪神カップのグランアレグリアともそこまで差のないものですし、今回もまともな競馬ができればまず上位争いになるんじゃないだろうか。	5	まさかのスタートで出遅れ。それによって位置が取れず、最後は外を回す形になって差し損ねた。前走以上の上がりを使ってのだけに、今回は川田騎手のミスと言わざるを得ない。
3	カツジ	武豊	消	D	8	とにかく揉まれるとダメな馬で、スワンSは奇跡的に超スローで逃げられたのが勝因でフロックだろう。武豊騎手が乗るとなるとオーソドックスな競馬になりそうですし、そういう競馬では無理だと思います。	15	スタートで出遅れ。揉まれるとダメな馬で途中から位置を取りに行く騎乗ではまず無理だろう。今後よほど恵まれないと厳しいか。
4	ロードアクア	田中健	消	D	12	ここ2戦はベスト条件で馬場も展開も恵まれていた印象。それでいて粘っていないとなると、距離延長で重賞では厳しいだろう。	7	番手の位置からこの馬でもこれぐらいは粘れたあたり前残りのレースだったということだろう。今回は前に引っ張られて時計が出た感じがするので過大評価は禁物か。
5	メイショウチタン	幸	△5	D	9	戦績イメージ通りで芝1400m専用機の特長型。ここも適性は合いそうだが、さすがにいきなりの重賞挑戦では相手が悪すぎず感じはします。	6	中団から上手くインを突いて脚を伸ばしてきた。らいは粘れたあたり前残りのレースだったということだろう。今回は前に引っ張られて時計が出た感じがするが、4歳馬だけに成長もしている。
6	ミッキーブリランテ	和田竜	☆	C	10	とにかく折り合いさえつければ・・・という馬で、前走はマイルの外枠ながらギリギリで折り合いがついて大穴激走。もともと1400mぐらいで内枠を引ければやれていいはずで、阪神カップは外枠で前に壁を作れなかったのである程度は度外視可能。今回は内枠が引ければ、という感じだろう。	2	内枠で脚を溜める競馬で一気にパフォーマンスを上げてきた。いかにも矢作マジックという感じの馬で、とにかく内枠を引いて脚を溜められるか基準で狙いたい馬だ。
7	クリノガウディー	岩田望	△4	C	7	折り合い難があるが1200mでは忙しいタイプの馬で、基本的には1400mぐらいが適性ベストと考えて良さそう。ただ、前走でスプリント戦で無理矢理に先行策を取ったことで折り合いが難しくなりそう。そこからの距離延長で重賞成績はイマイチな岩田望騎手となると・・・	9	溜めなきやダメな馬でこういう競馬をしちゃ伸びるはずがない。2度の暴走競馬で馬がおかしくなってしまうのが怖い。
8	レシステンシア	北村友	○	B	1	昨年の牝馬クラシック路線で唯一デアリングタクトと互角に戦っていた馬。マイル前後の距離では相当に強いはずで、この距離もファンタジーSを勝利しているので問題なし。マイルCSの内容が少し下りしなかったが、今回は調教時計を見ても仕上がりはいいはずで、まともなら勝ち負けになるだろう。	1	調教の破格の動きをそのままレースでも証明した。ダイワメジャー産駒の最高傑作になれる馬だが、次走はどこを使うかがポイント。安田記念ならば有力候補になるんでは。
9	タマモメイトウ	古川	消	E	17	一連のレース成績を見てもタフ馬場の芝1200mで展開向け、・・・という馬。阪神カップの内容を見てもここは無理だろう。	10	直線でインを通った分での時計が走れちゃった感じあり。今回は前に引っ張られて時計が出た感じがするので過大評価は禁物か。
10	インディチャンプ	福永	△1	B	3	これまでのマイルG実績を見ても能力に関してはここでは抜けた存在。ただ、阪神カップのレースぶりを見ても、激流の1400mは若干忙しそうなお印象を受けた。その前走はマイルCSで仕上げたから一応の出来に思ったと思うが、今回は休み明けでどう考えてもここが目標ではないでしょうし、ここは能力だけでどこまでやれるか。	4	状態最悪に見えた中で最後にしっかり伸びてきたのは地力の証。ただ、追走スピードを問われるとあまり良くなさそうで、次走が高松宮記念となるとさすがにどうなんだろうか。
11	ザイツィンガー	国分恭	消	E	13	オープンレベルで差しの効く条件なら十分にやれて良さそうな馬。ただ、今回は決着時計が1分20秒を切りそうな1400m戦となると、さすがに差し届かないように思います。	8	今回は超高速決着ですがさすがにタフ馬場向きの差し馬には厳しかった。どこかで大穴を開けそうな感じがしますが・・・
12	コンパウンダー	吉田隼	消	E	16	1200mで差し馬場に乗りて差し込んでくれるようなタイプ。今回は高速馬場で1400mで重賞となると厳しいだろう。	11	まあここでは無理だっただろう。今回は前に引っ張られて時計が出た感じがするので過大評価は禁物か。
13	ジャンダルム	荻野極	△3	C	4	ここ2戦のレース内容を見てもジャンダルムの子供らしく短い距離に適性をさせている感じ。阪神カップも内枠なら3着はあったかもしれないが、今回は本命や乗り方次第でチャンスあってもいいんじゃないだろうか。	3	今回は積極的に位置を取りに行ったのが良かった感じ。ピリウの子供らしくやはり短い距離が合うだろう。走るかどうかは別にして、もう1ハロン短い距離も見てみたい。
14	トライン	池添	▲	C	6	折り合い難がある馬で、前走の東京新聞杯はそのリスクを負ってでも勝てる位置で競馬をした結果、伸びず。1400mは一度しか使っていないので適性的にどうか微妙な部分はあるが、グッと溜める騎乗ができればここは走ってもいいはず。	17	溜めなきやダメな馬で位置を取りに行ってしまうのは・・・この馬のキャラを理解していなかったんだろうか。こういう競馬をしようという馬がおかしくならないかが心配だ。
15	ブラックムーン	藤井勲	消	E	15	さすがに年齢通りに衰えている感じ。もう重賞では厳しいだろう。	13	上がり最速を使っている点は驚き。衰えはありながらもベスト条件は1400mという感じがします。
16	メイショウキョウジ	酒井	消	D	14	一時期は完全にスランプだったが、前走で復調傾向。とは言え、外差し馬場を完全に利してのものですし、今回は距離延長で重賞となると厳しい。	14	中団追走から何もできずに終了。さすがにこの相手はこの条件では厳しかったか。
17	ベストアクター	団野	消	C	5	昨年の阪急杯の覇者。まだレース数を使っていないので衰えはないかもしれないが、常識的にこの休み明けは評価しづらい。	16	長期休み明けですがさすがにこのレベルで走り切るのは無理だったか。